



ご協力ありがとうございました

今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防のため、午前中のみで開催や競技種目の変更、観覧者の人数制限といった特別な配慮をしなければならない運動会でした。保護者の皆さんや地域の方々の支えのおかげで、子どもたちが精一杯の力と気持ちを出し切った最高の運動会となりました。

気持ちよく運動会ができるようにと、運動会の数週間前には PTA 本部役員の皆さんや、地域の高齢者の方々、草刈りボランティアに登録されている皆さんが、暑い中、校庭や通学路の草刈りをしてくださいました。また運動会前日準備や当日の交通整理、駐車場誘導、運動会終了後のテント等の片付けまで PTA のみなさんが率先して協力してくださいました。竜門駐在所の嶋中さんはじめ、吉野警察署の皆さんがパトカー数台で警備にあたってくださいました。こうして振り返ってみると、本校を見守ってくれている地域や保護者の皆様の温かい思いの深さに改めて気づかされます。本当にありがとうございました。

学校行事

コロナ禍の中、野外活動（5年生）と修学旅行（6年生）は開催が危ぶまれましたが、安全に留意し、リスクをきょくりよく軽減しながら、現状でできることは何かを担当教員中心に考え計画し実施しました。何より、保護者の皆さんのご理解とご協力のおかげで実施することができました。ありがとうございました。未だに新型コロナウイルス感染症終息のめどはたちませんが、今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

□野外活動□

10月7日（木）に、5年生が宮滝野外学校に出かけました。本校12名と吉野小学校23名の合計35名が6班に分かれ活動しました。感染対策に十分配慮したプログラムを宮滝野外学校の担当者が企画してくださいました。

はじめのハートアクティビティでは、これから何をやるのだろうと緊張しているみんなの気持ちをほぐし、心を一つにするための活動をしました。しゃべらずに誕生日の順に並んでみんなで一つの大きな円をつくったり、好きなおにぎりの具が同じなかまを呼び合っグループを作ったりしました。次のフォトウォークラリーでは、宮滝野外学校周辺を写した写真を手がかりに各ポイントを巡り、いくつかのクイズとタイムトライアルにチャレンジしました。宮滝の風景や吉野川を流れる秋風を楽しみながら歩くことができました。早朝からお家の人がつくってくれたお弁当をおいしくいただいた後は、たくさんの方が楽しみにしていた焼き板づくり。ドラム缶を半分に切った大きな容器の中での火おこしから始めました。まきに火がつき、炎が大きくなるとみんな大喜び。やけどに気をつけながら約10センチメートル四方の板を、1人1人火に入れて焼きました。十分焼き色がついた板を「あつ！あつ。」と言いながら火ばさみで取り出し、板が冷めてから新聞紙で磨きました。余分な炭が落ち、木目や光沢が出てくるまで磨きました。焼き板の絵付けは時間の関係で、学校ですることになりました。

最後に今日の活動を振り返り、楽しい思い出を胸に宮滝野外学校を後にしました。普段はなかなか体験できない活動をすることができました。来年度、小中一貫校で6年生として出会う吉野北小と吉野小の5年生どうしの交流がもできました。大満足の日でした。



□修学旅行□

10月17日(日)・18日(月)1泊2日で和歌山串本・白浜方面に出かけました。吉野小学校と同じ行程で実施し、白浜アドベンチャーワールドでの班活動は両校合同で実施しました。コロナ禍対策として2月に予備日を設けていましたが、今回全員参加で実施ができました。

本来、平和学習として広島へ出かける予定でしたが、コロナ禍のため和歌山方面へ出かけました。1889年、トルコの訪日団一行が乗船していたエルトゥールル号が串本沖で遭難しました。40m以上ある崖をよじ登り助けを求めてきた10名のトルコ人から遭難の知らせを受け、串本(大島)の住民総出で40mの崖を滑り降り救助に向かいました。580名は遭難しました。しかし救助活動のお陰で69名もの人命が救われました。遭難そして救助活動が行われた現場に建つトルコ記念館を今回訪問しました。

1985年イランイラク戦争の影響で、イランに取り残された日本人216名が救助を待っていました。イラクのフセイン大統領が民間機も含め攻撃撃墜開始を宣言していたからです。イランのテヘラン空港で救助を待っている人、国外脱出をあきらめホテル等の建物の地下に避難している人もいました。残念ながら日本から自衛隊機も民間機も救出に来ることができませんでした。攻撃開始時刻数時間前に、1機のトルコ航空機がテヘラン空港に降り立ちました。トルコ政府の決断で日本人救出に来てくれたのです。なぜ？危険をおかしてまで日本人を救出に来てくれたのか？トルコの人々は「日本人には100年前の恩義がある。それを返しに来ただけです。」とおっしゃったそうです。

今回記念館訪問にあたり、語り部さんが案内してくださいました。塩谷さんとおっしゃるご年配の女性でした。実は塩谷さん今回が初めて語り部さんとして一人で一団体を案内をするそうで、相当緊張されていました。一生懸命資料を準備し、一生懸命懇切丁寧に説明してくださいました。子どもたちに伝えたい事柄を一つでも逃さないようにと訪問場所毎に語ってくださいました。結果的に、当初予定の説明時間を大幅に超過してしまいました。うまく伝わったのか？トルコとの出来事に興味をもってもらえたか？小学生には難しすぎないか？等、気になさっていました。記念館見学を終え出口で子どもたちが出てくるのを待っていました。ある女子児童の声が館内から聞こえてきました。「もっと見学したいな。」おそらく外で待機してくれていた語り部さんの耳にも届いていたと思います。

解散式で担任の辰本が「たくさんの人々に支えられ、お世話になったおかげで修学旅行ができました。」その言葉に尽きると思います。

広島平和公園で学べなかったことは残念ですが、トルコ記念館や修学旅行をとおして、子どもたちそれぞれがしっかり学ぶことができた実感しています。一生懸命準備して下さった語り部さんの話を、少々時間が延びてもどのような態度で聞けば良いのか？しっかりと考え実践できた6年生に感心しました。



ボランティアの皆さん、ありがとうございます!④

毎年開催していた文化鑑賞会で出演者の皆さんの控え室として図書室を使用しています。数年前、文化鑑賞会でお招きした講師で人間国宝の一龍斎貞水氏が「こんな図書室で勉強したいな。」とおっしゃいました。本校の図書室は全国津々浦々巡回されている方からみても、魅力的な図書室です。

8名の図書ボランティアの皆さんが本校担当職員と相談しながら定期的に図書室で活動して下さっています。8名のボランティアさんは、図書に関する専門知識をお持ちの方、図書業務に携わっている方等、本が大好きな方ばかりです。図書室の中はもちろん、図書室前の廊下まで本の魅力を伝える展示物でいっぱいです。図書委員会の子どもたちが気持ちよく機能的に活動できるよう展示のしかたや、陳列の工夫等、専門知識を活かした室内に仕上げてくださいました。来校の際には是非図書室に立ち寄ってください。ボランティアさんのおかげで優しい雰囲気図書室になっています。

※次回は家庭科支援ボランティアさんをご紹介します。

主な学校行事

- 11月 6日 (土) : 休日参観・教育講演会 (給食有 下校時刻全校 13:30)
- 11月 10日 (水) : 遠足 (1～4年生 竜門岳 弁当無 給食有 詳細は後日お知らせします)
- 11月 25日 (木) : 長距離走大会
- 小中一貫教育校吉野さくら学園「内覧会及び保護者学校説明会」について、教育委員会より連絡がありましたのでお知らせします。 ※詳細は後日お知らせします。

PTA 本部役員さんの働きかけで保護者学校説明会で通学や新学校に関する質問等、教育委員会と質疑応答の時間を確保していただいています。2年前より実施されていた「開校検討委員会」での決定事項(校名・校 校歌・制服・PTA 組織・通学方法)が引き続き町 HP に紹介されています。併せてご覧ください。

12月 17日 (金) : 新校舎引き渡し式 施工業者より吉野町へ
教育委員・議会対象の内覧会

12月 18日 (土) : 午前9時30分
小学校 新1～新6年生保護者学校説明会 (中学校体育館か新校舎多目的室)
保護者対象の内覧会
午後1時30分
町民対象の内覧会

1月 15日 (土) : 午前
中学校新1年生～新3年生保護者学校説明会 (中学校)
保護者対象の内覧会

1月 18日 (火) : 中学校入学説明会 (対象 新中学1年生)

2月 1日 (火) : 小学校入学説明会 (対象 新小学1年生 場所 新校舎多目的室)